

# 福岡県周辺の基地の動き 第1号

## 航空自衛隊築城基地の送信所



覆土式の厚いコンクリート壁に  
作り換えられた送信所  
—旧局舎は木造造—

### 送信基地の抗たん性は大幅に強化！

航空自衛隊築城基地の送信所は、第7高射隊のパトリオットミサイル基地横の椎田有料道路の東側から見える場所にある。

作り換える前の送信所の局舎は木造造りであったのが、厚いコンクリート壁の覆土式に換わった。築城基地側からは「北九州空港の管制を行なうため、送受信を別々に行なうために換わる」と地元議員には説明したとのこと。

誰が見ても基地が砲撃や攻撃を受けても壊れにくい基地の抗たん性の機能が強化されたと思う。

### 基地機能の抗たん性を“新防衛計画の大綱でも整備”

昨年12月発表された“新防衛計画の大綱”では、「自衛隊が動的防衛力として抑止・対処において有効に役割を果たせるよう、基地機能の抗たん性を確保」し、「維持整備に万全を期す」としている。

抑止と対処を一体に運用する“動的防衛力”は、「敵」からの反撃を受けても基地の有効な役割を維持する“戦時体制”を進めているとこれらから読みとれる。

2010年の米軍QDR【4年後との国防計画見直し報告】では、“軍のバランスの再調整”の中の“米国の前方態勢と基地インフラの抗たん性の増大”で、「米軍は現在と比較してさらに抗たん性のある基地と支援インフラのネットワークを利用できる必要がある」としており、米軍と一体化する自衛隊基地の機能強化を求めている。